

福祉教育常任委員会閉会中の調査について

福祉教育常任委員会委員長 副田悦子

(1) 日時 令和 7 年 2 月 13 日（木） 9 時 22 分～10 時 31 分

(2) 場所 東庁舎 4 階第 2 委員会室、甲西中学校夜間学級

(3) 案件

① 甲西中学校夜間学級について

教育部より 4 月開設に向けて、現在の入学予定者・施設・設備等の整備状況、予算措置等について説明の後、質疑があった。

Q：説明会に参加された人数より入学希望者の人数が少ないが断った理由は。

A：ご高齢やひきこもり傾向の方などが実際に見学し、毎日登校できないと判断され、辞退されたのがほとんどになります。

Q:英語圏の人も英語の授業を受けるのか。3 年生から始められる方の教育課程はどうなるのか。

A 日本の中学校の教育課程が基本となるので、同じように受けてもらいます。3 年生は中学 3 年の教育課程を受けてもらいます。

Q:学びの機会を提供するという方針から IoT を活用するといった対応は。

A：始めからありきではないが、通いにくくなってくる生徒の状況などが想定されますので、念頭に置きながら環境整備を進めていく必要があると考えています。

Q:今回 30 人という枠だが今後増やしていくのか。

A:今後増えていくことは予想されますが、湖南省で増やしていくというより、他の地域で展開されていくと考えています。

Q：予算措置は 3 年で終わるのか。

A:国からの補助が開設前 2 年、開設後 3 年で終わります。同様に、県からの補助も終了するので、引き続き県内初の夜間中学校として支援をしていただけるよう要望を上げていきます。

Q:職員配置について、特に養護教諭・事務職員が昼と兼務するのは大変ではないか。

A:学校規模の基準は満たしており業務量もそれほどないと見込んでいます。

○養護教諭の教育的意義から様々な背景を持つ生徒さんたちに寄り添うために検討するべきではないか、との意見が出された。

その後、現地に行き、校長先生からご案内いただきました。教育部職員はじめ、甲西中学校の生徒会や人権委員会なども気持ちよく入学してもらおうと準備していることがうかがえました。